

平成 17 年 度 同 窓 会 行 事 ・ 業 務 報 告

1. 総括

「母校支援事業の継続」および「石狩地区会員の交流促進」を重点課題とし、会員サービス事業の継続的な充実を図ることにも配慮した活動を実施した。

母校支援事業の継続に関しては、非会員を含めた証明書代理取得の実施、卒業生による母校教育点検、母校学生募集および就職斡旋への協力などを行った。石狩地区会員の交流促進に関しては、大学祭出店展示利用チケットの配付、大学祭同窓生交流会の開催、札幌支部の組織強化などを行った。

2. 重点事業

1) 全卒業生を対象とした証明書代理取得

卒業生に対する証明書発行の適正化および簡素化を目的とし、教務課および総務課との協議を重ねた結果、本年度4月より同窓会の非会員を含めた全卒業生を対象とした証明書代理取得サービスを始めることができた。このことにより、遠方に在住している卒業生および来学した卒業生における証明書申請およびその発送業務が改善された。なお、非会員卒業生に対する証明書代理取得は100件程であった（数名の入会あり）。

2) 大学祭への卒業生参加（石狩地区会員の交流促進）

◇出店展示利用チケットの発行

石狩地区に在住する正会員に対し、大学祭の出店・展示に本人または家族が利用できるチケット（¥1,000 クーポン）を送付し、大学祭への参加を促した。8,200名程を送付した結果、チケット利用者が430名程であり、発送数の5%を超える良好な利用率であった。

◇札幌支部総会・大学祭同窓生交流会

活動休止状態となっている札幌支部を再興することを目的とし、大学祭期間に札幌支部総会および大学祭同窓生交流会を開催した。これまで築き上げてきた職域支部的な関わりを存続させることが有効と考え、支部設立20周年を機にリスタートすることができた。交流会参加者は80名程であった。

◇機械工学科支部総会・懇親会

大学祭で恒例となっている機械支部総会・懇親会を盛大に開催した。今年度、機械工学科支部は精力的な組織強化を図っており、同窓会の基盤となる学科支部として躍進しつつある。その重要イベントとなる総会・懇親会には120名程の卒業生が参加した。

3) 地域交流の活性化

関東圏における卒業生交流を推進するため、昨年度の土木・建築OB会に続いて、本年度は電気・応電・福祉OB会を11月5日に東京で開催した。OB会には小林会長、小島応電支部長、10名程の母校教職員および70名程の現地卒業生が参加した。電気・応電・福祉として初めての東京OB会であったこともあり、参加者には大変好評であったようである。

今後は、この2年の東京開催OB会を機に、東京支部に学科分科会を創設するなどによって、全学科の卒業生が所属する東京支部を構築し、関東圏における会員交流を継続したい。

4) 母校学生募集の支援

◇地域懇話会を 9/10 に開催し、学生募集および就職支援を PR する機会を設けた。参加者は 5 会場で計 76 名であった。この懇話会も 4 年目となり、母校教職員と地域卒業生との交流イベントとして定着したことから、その内容をさらに効果的なものに改善すべき時期にきている。具体的には地域懇話会に合わせて、新しい工学技術に関する講演会などの開催を考えている。

◇各種イベントに参加した卒業生に対し「大学案内」、「コラボ」、「大学広報 DVD」などを配付した。年間の配付数は同窓会報の発送時に 7,000 部程、学科支部および地域支部イベントで 300 部程である。同窓会子女入試案内も 7,000 部程発送し、同窓会子女受験を広報した。

5) 母校学生募集の支援

同窓会の長期的な運営財源確保の目的から、次年度より機械・経営の 1 期生に対し会員サービス継続会費¥20,000 を追加徴収することを始めた。この制度に対しては、会員各位のご理解とご協力を賜りたい。

3. 年間の行事・業務

平成 17 年度の具体的な行事・業務の内容は次の通りである。